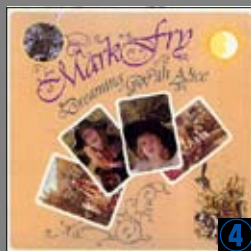


ジャンイスの企画魂「諸行無常に響くアシッド・フォークの世界」



店員 A：毎度おなじみ DEEP な CD レンタル屋 JANIS による DOPE なこの連載!

店員 B：今回はブームの兆しも見えるアシッド・フォークの世界を紹介します!! まずはこれぞ王道と言える 1 枚、Tim Buckley の 67 年に発表された 2nd アルバム①『**GOODBYE AND HELLO**』。

店員 A：Jeff Buckley のお父さんとしても有名ですね。どちらも若くして他界しちゃったという…。

店員 B：今回はとにかく声が美しいアーティストをセレクトしたいと思ったんで Tim Buckley は外せませんでした。そして美声といえば EXTRADITION の②『**HUSH**』。最近、Vashti Bunyan が話題となっていますが、アレにやられた人は激オススメです。今回のセレクトでは個人的にこの EXTRADITION と Linda Perhacs の③『**Parallelograms**』は外す気はありません。

店員 A：ほお、そこまで惚れこんでいる。

店員 B：この 2 つは最近の Animal Collective や Devendra Banhart といったフリーフォークの音と通ずるものがあると思います。アシッド・フォークと言ってもドロドロした部分がないんです。

店員 A：どちらも女性ヴォーカルですね。

店員 B：EXTRADITION は水の流れる音や石を叩いた音なんかも入っていたり、自然の力を自分のなかで醸成して大地に還しているかのような、そういう世界を感じます。

店員 A：この Linda Perhacs のヴォーカルもヤバイっす。穏やかな音なんだけど、あの世な歌声ですね。

店員 B：次は Mark Fry の④『**Dreaming With Alice**』。タイトルにアリスってあるように、アコギの音に誘われて聴き惚れていると、どんどん森のなかを彷徨っていくような感覚になりますね…。

店員 A：まるで幻想音楽。だんだんサイケ度が深まってきたな…。

店員 B：この Erica Pomerance の⑤『**You Used To Think**』はサイケの度が過ぎてアバンギャルドです。

店員 A：アコギとパーカッションが主体でオーソドックスなサウンドと思いきや、このヴォーカルの入れ具合は常人の世界じゃない。

店員 B：緊迫感があるんですよ。即興性が高いというか、咳の音

とか入ってるから完全に一発録りですけどね(笑)。

店員 A：ジャケットも神秘主義的です。この Simon Finn の⑥『**Magic Moments**』のジャケットもかなり恐いんですけど…。

店員 B：Simon Finn は 70 年に 1st アルバムをリリースしたんですけど、昨年、35 年ぶりにこの 2nd を発表したんです。

店員 A：よく、こんな人がこれまで生きていたな…。

店員 B：1st の時と比べると落ち着いた感じがしますねえ。1st はもう陰しかないっていうか、どこまでも沈んでいく世界でした。

店員 A：生命力あるんだか、ないんだかねえ…。

店員 B：VIRGIN INSANITY の⑦『**ILLUSIONS OF THE MAINTENANCE MAN**』はマニアの間でも幻と言われていたデビューアルバム、その初 CD 化です。

店員 A：この音は、これまでのサイケな世界から一転した耳障りです!歌の内容は自分のための癒しソングって感じがしますねえ。

店員 B：これはハマると繰り返し聴いちゃう作品です。そして最後はクイックシルバー・メッセンジャー・サービスにいた⑧『**DINO VALENTE**』。

店員 A：この人の別名はアンダーグラウンドのディラン!!

店員 B：凄く乾いた質感なんだけど瑞々しいヴォーカルなんですよ。これもアシッド・フォークの定盤ですね。

店員 A：しかしアシッド・フォークって実際のところ何なんですかね?

店員 B：60 年代にフォークのなかにも自己探求的だったり、サイケデリックなのが出てきてアシッド・フォークが始まったわけですよ。でも、こういう音楽ってどんな時代でも必要とする人はいるわけで、それが今も綿々と聴き続けられている理由でしょうね。

「諸行無常に響くアシッド・フォークの世界」。全部 JANIS でレンタルできます!!

CD RENTAL SHOP JANIS

千代田区神田小川町3-6-9
神田第2アメレックスビル9F
TEL: 03-3291-9578
<http://www.janis-cd.com/>

